|  |
| --- |
| 【科目名】**園芸療法のための医療・医学** |
| 【期　別】前期（4～8月） | 【区　分】必修 | 【種　別】講義 |
| 【単位・コマ数】2単位15コマ | 【時間数】22.5 | 　 |
| 【主任教員】〇田代 善崇（5）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　○は成績評価者 |
| 【分担教員】平野[竹村]文男（2）柿木 達也（3）　加藤 順一（2）　木下 彩栄（3）　　　 　　　　　　　　　 |
| 【授業のねらい】園芸療法を行うにあたりクライエントの病理と治療を理解する。園芸療法と関係が深い脳科学について理解する。 |
| 【担当教員】　　　　　 | 【授業予定】 |
| 田代 善崇6/30（土）1-2限7/7（土）1-3限 | * 生活習慣病（肥満症、高血圧症、動脈硬化、糖尿病、がん、心疾患、脳卒中など）
* 腎疾患
* 神経疾患（パーキンソン病）

上記疾患の病理，治療，予後，患者の生活などについて |
| 木下 彩栄6/30（土）3-5限 | * 大脳の構造と機能
* 脳幹の構造と機能
* 小脳の構造と機能
* 脊髄の構造と機能などを、症状や疾患とからめながら概説する
 |
| 平野[竹村]文男 7/7（土）4-5限 | 1. 医療・医学概説（1コマ）医療従事者の倫理観、医療の変遷、医療に関する法律、保険制度
2. 身体病理・薬理（1コマ）植物・昆虫との接触や食物摂取時のアナフィラキシー、接触性皮膚炎、リウマチなど昨今の医学トピックス（学生がアンテナを張っておくべき情報，認知症を除く）
 |
| 加藤 順一7/14（土）1-2限 | * 老年医学総論（1）老年者の身体生理と病理
* 老年医学各論（2）老年者の疾患とその特徴
* 疾患治療と薬理
* リスク管理について
* 高齢者の食と栄養
* 実習：介護と嚥下について
 |
| 柿木 達也7/14（土）3-5限 | * 日本の高齢化の現状と将来の状況　地域包括ケアシステムの理解
* 現在の認知症施策を理解する、新オレンジプランについて
* 認知症は「不幸」ではなく「不便」、不便の支援「そっと・やさしく・さりげなく」
* 認知症観の変遷、認知症の捉え方の変化、認知症の現状と今後の状況
* 認知症における認知機能障害、認知症の鑑別診断と疾患別理解
* 治療および進行抑制の考え方
* BPSDの理解と対応
* 全般的な認知症予防の考え方
* 療法としての園芸について、認知症への予防的・治療的側面を考える
* 認知症機能訓練システム（4DAS）について
 |
| 【購入図書】 |
| 田代 善崇：平野[竹村]文男： | * 「新訂版　クイックマスター病理学　第2版」（堤　寛、サイオ出版、2018年）

※教科書は、講義で使用します。 |
| 【予習課題】 |
| 木下 彩栄： | * 脳の解剖学的構造について理解しておいてください。
 |
| 柿木 達也： | * 学ぶ前の自分の中にある認知症の理解を考えてみる

（講義を聞いた後の自分の中での認知症の理解がどう変化したかを比較するため） |
| 加藤 順一： | * 加齢と身体機能について
 |

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 【参考図書】 |
| 田代 善崇： | * 「健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病」（田中逸、日本医事新報社、2013年、3,456円）
 |
| 平野[竹村]文男： | * 「生命倫理と医療倫理　 改訂3版」（伏木信次ら編、金芳堂、2014年、2,808円）
* 「わかりやすい公衆衛生学　第4版」

（清水忠彦、佐藤拓代編集、ヌーヴェルヒロカワ、2015年、 2,376円）* 「イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 第2版」

（田中越郎、医学書院、2011年、3,240円）* 「イラストでまなぶ解剖学　第2版」（松村譲兒、医学書院、2009年、2,808円）
* 「イラストでまなぶ生理学　第3版」（田中越郎、医学書院、2016年、2,808円）
 |
| 木下 彩栄： | * 「ぜんぶわかる脳の事典」（成美堂出版）
 |
| 【成績評価の方法】 |
| 田代 善崇： | * 出席を含め、予習課題やレポートなどから理解度を参考に評価します。
 |
| 【受講生への希望】 |
| 田代 善崇： | * 生活習慣に対する知識を身につけて頂き、身近な問題であることを理解した上で、これらの改善に興味を持っていただく。
 |
| 柿木 達也： | 次のことをねらいに授業を行います。1. 日本の高齢化の現状と今後の状況について理解する
2. 「新オレンジプラン」と「認知症観」の変遷と転換について理解する
3. 4つの代表的認知症の特徴を理解することをとおして認知症の正しいイメージをつくる
4. 認知症の生活上の不便を疾患別に理解する。「もし自分が認知症になったらこんなことで困るだろうからこんな支援をしてほしい」といった当事者の視点がイメージできる
5. 認知機能障害・生活障害・身体障害・BPSDの4つの側面から認知症を理解できる（４DAS）
6. 予防と早期発見と早期支援の一連の重要性を理解する
 |
| 加藤 順一： | 講義の中で各人の体験経験を振り返り、実習もとりいれることで再認識することが、社会人として成長できるよう講義します。 |
| 木下 彩栄： | 脳の不思議さに関する一般書などを読み、脳に興味を持ってください。ラマチャンドラン「脳の中の幽霊」（角川文庫）などはお勧めです。 |
| 平野[竹村]文男：　 | 私の講義に対するポリシーは、“明るく、楽しく、全員参加の講義”です。興味のあるもの、好きなものに対して、人間は信じられないほどの力を発揮できると思います。また、明るく、楽しいものほど興味をひかれ、好きになるように思います。がんばって参りましょう。皆さんと、講義でお会い出来ることを楽しみにしております。講義は、7月7日（SAT.）に、行う予定ですが、それまでに＜質問＞があれば、私あてにe-mailにて次のaddressまでお送りください。[hgd77801@hcc6.bai.ne.jp]　何らかの形で、回答する予定です。 |